

# 30L-am05

ゲンコウ果皮抽出物の毛乳頭細胞に対する作用

○尾上 貴俊<sup>1</sup>, 田頭 英樹<sup>1</sup>, 鏑田 仁人<sup>1</sup>, 高垣 欣也<sup>1</sup>, 久納 弘幸<sup>2</sup>, 大久保 惇<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>東洋新薬, <sup>2</sup>佐賀県地域産業支援センター)

【目的】柑橘果皮を乾燥させ作製した陳皮は、古来より漢方薬として用いられているが、柑橘果皮に含有される成分が抗炎症作用、血流促進作用を持つという報告も近年数多く挙げられており、その機能性に注目が集まっている。そこでわれわれは、佐賀県馬渡島に自生する佐賀県固有の柑橘の一種であるゲンコウに注目し、その機能性評価の一環として、ゲンコウの果皮熱水抽出物の毛乳頭細胞に対する作用を検証した。

【方法】毛乳頭細胞にゲンコウ果皮熱水抽出物、およびゲンコウ以外の柑橘果皮の熱水抽出物を添加し、細胞増殖率をWST8法により比較した。また、ゲンコウ果皮熱水抽出物を毛乳頭細胞に添加した際の、毛周期に関連する遺伝子発現の変化を定量的RT-PCR法により解析した。

【結果と考察】ゲンコウ果皮熱水抽出物は、ゲンコウ以外の柑橘果皮と比較して高い毛乳頭細胞増殖効果を持つことが認められた。さらに、遺伝子発現解析の結果、毛母細胞の成長に関与する遺伝子 FGF5、FGF7、VEGF 等の成長因子(グロースファクター)の発現上昇が認められた。以上の結果より、ゲンコウ果皮熱水抽出物が毛乳頭細胞への作用を介し育毛に関与する可能性が示唆された。